

(会議録)

加東市環境市民会議 第2回会議議事録

開催日時：平成21年10月20日（火）午後7時00分から午後10時40分まで

開催場所：社公民館（社多目的研修館） 視聴覚室（2階）

出席委員：伊藤忠義委員、藤本武志委員、竹内正子委員、阿江洋和委員

梶原一晃委員、佐々木正利委員、竹村厚司委員、山口広子委員

吉田博史委員、弘中和夫委員、石田れい子委員、井上綾乃委員

小林隆造委員、近松照芳委員 （委員出席14名、欠席4名）

コンサル：兵頭統括者、井原技術士（コンサル出席2名）

事務局：前田生活課長、藤浦生活課副課長、岸本主幹、長谷田主幹（事務局出席4名）

会議次第（抜粋）

1. あいさつ
2. 事務局連絡事項
3. 本日の話題提供と加東市の環境に関する意見・情報交換について
4. 環境まちづくり会議の企画検討について
5. 次回会議日程調整について

会議録（議事録）

【あいさつ】

前田生活課長 あいさつ

【事務局連絡事項】

環境市民会議議事録の公開について ····· 委員了承
委員の了承を受け、加東市ホームページ上で公開する。

今後（本日）の会議の進め方について ····· 説明提案

【本日の話題提供と加東市の環境に関する意見・情報交換について】

（ウエスコ井原技術士）※説明はパワーポイントで以下の項目を詳細説明

○第3次兵庫県環境基本計画の4つの目標

- 1) 地球温暖化
- 2) 廃棄物、ゴミ問題などの循環型社会に向けて
- 3) 生物多様性、自然環境
- 4) 兵庫県や北播磨地域における環境に関する取り組み事例

○温室効果ガスの排出から始まる地球温暖化

○人類の生存基盤である地球環境が危ない

○温室効果ガスが地球温暖化になる仕組み

☆地球温暖化はビニールハウスが温まることと同じ仕組み

○地球の気温は上昇し続けています

○地球温暖化を引き起こす温室効果ガス

☆二酸化炭素60%、メタン20%、フロンガス14%、その他6%

○二酸化炭素排出量状況

☆世界の二酸化炭素排出状況（先進国での排出量）

☆日本での各部門の排出量（家庭部門と業務部門）

☆家庭からの二酸化炭素排出量

○便利な生活が地球温暖化を招く

☆自家用自動車30%、屋内等動力30%、給湯14%、その他26%

☆このままだと急激な温度上昇が起こる

☆地球温暖化が招く問題

- ・森林資源の減少と分散分布の変更
- ・急激な変化の気象現象が発生する
- ・伝染病のまんえん
- ・海面上昇による沿岸地域の様々な問題

○温室効果ガス削減のための取組

○地球温暖化対策推進法の概要

○地球温暖化を防ぐには・・・

○私たちが取り組むべき行動

(竹村委員長) ここで何かご意見等はありませんか。

(近松委員) 話の中で電気が二酸化炭素を出すと説明があったが、電気が出すというのはイメージがわからない。

(事務局) 原子力以外は発電時に重油等を使用します。その際に二酸化炭素を発生させる。各電力会社によっても1kWh発電時の二酸化炭素発生量は違っています。

(近松委員) 重油などを使ったCO₂を発生させる発電量と、CO₂を出さない原子力発電とでは、どのような比率になっている。

(事務局) 関西電力で原子力が3分の1程度ではなかったか。

(竹村委員長) 半分近かったのではないでしょうか。

(藤本委員) 先程、電気の説明があったが、電力会社の方でどの程度蓄電能力があるか分からぬが、最低限稼動しなければコスト的な部分などで、それ以上削減できない部分が相当あると聞いている。テレビの深夜放送等を止めるなどの方策もあったが、現在はどんどん使い放題で、市やいろんなところでイルミネーション等でどんどん使う方向に向いている。だが、市民に対しては「節約しろ」とのことだが、最低レベルがどれぐらいに抑えられるのかによって、市民に対しての意識付けというものが起こって来るのではないか。

その辺りの情報提供をしないで、ただただ「CO₂が増えるから」ということだけでクリアできる問題ではないと思う。

私達素人では、そのような情報を持ち合わせていないので、その中で考えましょうとなつても、どのようにすれば、どのような効果があるのか全く分からぬ。

そのような状況で計画を作つて、実情と合つてゐるのかどうか問題である。

今のご意見は大変良いものだと思います。CO₂を排出しているのは発電所であるので、私達が電力を使わないからといって発電所でCO₂が出ていないかどうか分からぬし、その辺りの関係などをはつきりさせて欲しい。そういうことで宜しいでしようか。

こういったことは関西電力へ情報提供を求めれば出してくれるのでしようか。

(事務局) 原子力は動き出すとほぼ一定量の発電をすると聞いています。

* * 説明中盤削除 * *

場合によっては、関西電力に来ていただいてお話を聞く機会を設けるのも良いかと思います。

(竹村委員長) 家庭でのCO₂の排出量が多いということであれば、それを削減

したことによって本当にCO₂が削減できているのかどうか確認の必要があると思いますが。

(藤本委員)

素人考えにしたら矛盾することが多いので、それよりも蓄電とか色々な部分で国などがどれだけ援助（補助等）をしているのか、また市民の中でそれに協力する部分がどこにあるのかを理解する必要がある。

ただ、電気を消して、電球をエコな物に変えればそれで良いということではないと思います。

(竹村委員長)

その辺りは、3つの部会に分かれて詳しく議論していくということでお宜しいでしょうか。他に何かありますか。

(井上委員)

オール電化がエコだと言われていますが、夜間電力を使えば、同じ状態で（昼間）電気を使用したとしても少なくなるんですよというような勉強も、この会議なりフォーラムの中で市民レベルでの取組として行いたいと思いました。

【地球温暖化に関する加東市の現在の状況について意見・情報交換】

(竹村委員長)

市内の事業所の方ではどんな取組を行っているのでしょうか。

(吉田委員)

ジャスコ社店では、来店されるお客様に対しては快適にお買い物をしていただきたいので、売り場での省エネということでは照明を「間引き照明」にしています。照明で100ルクスあれば商品の状況がはっきりと見えるということなのでその基準で考えている。

照明は、開店から閉店までずっと点けているので、間引き照明だけでかなりの軽減になります。事務所ではひもを引くスイッチの電灯にして利用する部分だけ点けられるようになっている。

あとは冷暖房の温度設定で、冷房は28度で設定しているが、かなり暑いかなと思っています。

ですから、企業としては具体的に取組を行っています。

冷房に関しては重油を使用して冷房していますが、ポイントポイントで温度状況に応じて、点けたり消したりしています。

企業としては省エネということもありますが、コスト面もあるので、皆様方が思っている以上に行ってています。

(山口委員)

お買い物袋もご協力いただいていますね。

(吉田委員)

お買い物袋持参率は40%を越えたのではないかと思います。

大量に買われる方の持参率が高いと思います。

(竹村委員長)

一番コストがかかるのは。

(吉田委員)

冷蔵庫は24時間365日稼動しているので、温度変更はできませんので、それが一番高いと思われます。その次に、営業時間ということで空調といった順番ではないでしょうか。

(弘中委員)

私共はコンクリート製品を作っている工場ですから、エネルギーとしてはA重油を6割強を使用している。蒸気ボイラーで使用しています。

ISO14001の認証を受けているので、継続的改善を要求されていますので色々な活動を行っています。

月に1度、工場内で環境改善委員会という組織をつくり、省エネだけではなく作業環境も含めて改善を行っています。

あとは、ボイラーの発熱効率を上げるために、定期点検と酸素と油の割合（混合比率）を調整したり、電気だと、工場電力の20%がコンプレッサーの使用電力なので、インバーター式のものを使用している。

温度設定は、暖房が18度、冷房が28度に設定している。

(竹村委員長)

先程のお話のとおり、事業所の方が省エネなりCO2削減について進んでいる面がありますので、そういう工夫は、我々の家庭でも参考になるのではと思います。

＊＊ 休憩 ＊＊

(竹村委員長)

他に何か取り組みや活動をされておられる方はおられませんか。

(佐々木委員)

以前勤めていた職場では、マイ箸運動をしていました。食堂にはお客様用の箸はあるのですが、職員は使わないようにしていました。

(竹内委員)

婦人会でもそういった活動展開は行っています。

(弘中委員)

同じ地区に住んでいる者同士で乗り合わせ通勤を行っています。

(事務局)

市役所でもエコいこ運動で、イベント等には乗り合わせていくよう努めている。

(山口委員)

市で回収した天ぷら油の回収量はどの程度だったのか。また、市役所では公用車にBDF燃料を使用していると聞きましたが。

(事務局)

粗大ごみ収集の際に昨年の秋から始めています。昨年の秋で500リットル程度、今年の春で少し減ったが200リットル程度となっている。市の給食センターで市内事業所の廃食油を集めて姫路の業者が加西市でBDF化しています。

BDF燃料は、ごみ収集車（パッカー車）1台とマイクロバス1台に使用している。

今後は、廃食油を3庁舎で受け入れる方向で検討しています。

(山口委員)

滝野小学校か幼稚園で太陽光発電を設置すると聞きましたが。

(事務局)

どの学校で導入するかは分からぬが、設置することは聞いています。

また、太陽光発電機器は、市内で350戸程度設置していると関西電力から聞いて把握している。殆どが個人住宅です。

(弘中委員)

当工場でもNEDOの補助制度を導入して設置している。

(佐々木委員)

私達の団体でもボランティアグループを結成しており生ごみを堆肥化している。EM菌などを使い、臭いが少なく早く良い堆肥ができるように実験している。

ただ、個人の家からの生ごみは少なくなっていると思うので、どう広めていけば良いのか、また、農業に無関係のものが作った堆肥を如何に農家の方々に広め循環型のエコが出来るか、実験的に行っています。

【(仮称) 環境フォーラムの企画について】

(竹村委員長)

今年中に、市民全体にアピールしていくような（仮称）加東市環境フォーラムというものを検討しようということですが、前回の会議でお願いしたアンケート調査の結果を事務局で説明願います。

(事務局)

説明

(竹村委員長)

事務局の予定ではフォーラムは年内の開催予定か？

(事務局)

環境市民会議や庁舎内部会のメンバーへの勉強会という意味もあるので出来れば年内と考えています。

(井上委員)

環境フォーラムは、初めは環境基本計画を作るための基本知識を委員や関係者の皆さんに提供するためのものだと思っていましたが、これを見ていてたら市民の皆さんへの環境の意識付けをするような内容もあったので、目的をどう設定すればいいのか。

環境基本計画が固まってきた中で市民の方々へ促進するような内容であれば、フォーラムは私達も含めた大きな勉強会というものなのか・・・。

大きな勉強会ということは市民の多くに呼びかけて、出来るだけ参加してもらうということですか。

具体的な家庭での取り組みというレベルではなく、基本計画を作るための情報収集が私達に出来れば良いと思っています。

例えば、委員の方々も、環境基本計画を作るにあたっての理想などがあると思うのですが、実際に生活している方や消費者の方々の意見等もあると思うので、そういう声を聞いて意見交換とかで情報を収集できれば、計画の策定に役立てられるのではと思います。

(竹村委員長)

基本計画を作るまでの基本的な話をして、それに対して市民から意見を聞くような議論をしたいということで宜しいですか。

(竹村委員長)

私達がここで加東市環境市民会議という組織を作つて、それが発足して議論している事は加東市の方々は知らないだろうと思います。そのために、少なくともこういった組織を立ち上げたことを加東市民に知らせるための会議として考えたらどうか。

最初から自由に議論しましょと持ちかけても難しいのではと思います。ですから、初めは簡単に環境市民会議の内容を説明してくれる方を置いて進めればいいのでは。

ただ、普通に呼びかけてもなかなか集まらないと思うので、積極的に知らせる必要があり、事務局でチラシや広報などで周知していただいたらどうでしょうか。

自主的には集まらないと思いますよ。責任出席にしないと。

市の方でのPRはしていただけるとは思いますが。

市の行事では責任出席というのが多いが、そういうことが例えば婦人会組織の弱体化などいろんなところで弊害となつて現れてきているので、根本をしっかりと押えていかないと、ただ人が集まって話を聞いてもらえば効果が上がるというものではないと思います。

如何に関心を高めていくかの方策を考える必要があるのではないかでしょうか。

確かにそうですが、いろんなところから出てきてもらって、それを持ち帰つて広めてもらえば、関心を持った方がまた来ていただくこともあると思いますが、興味を持った方だけでは、なかなか広がらない。

(山口委員)

区長様などが持ち帰っていただいて、部落の懇談会や集会などで話してもらったら住民の方も関心を持っていただけるのではないかと思います。

(石田委員)

環境問題に関しては、人を集めるという感覚ではなく人のところに行って理解してもらうという感覚でいいといけないのではないかでしょうか。

関西地区の方は関心があっても集まってもらえない感じますので、こちらから出向いて聞いてもらうぐらいでないと環境問題は広まらないと思います。

あまりにも身近すぎて、大事な問題なのですが、遠い問題になってしまっている。

一般的には環境ということには非常に意識が低いと思います。意識啓発して行くためには地道な活動の積み上げが必要だと思います。

(近松委員)

大きい会議を開催すれば良いと思っていたが、今までの話を聞いて人集めが大変難しく無理なように思えてきました。色々な関係者の方々に出てもらえるよう依頼するしか方法が無いのかなと思いました。

(井上委員)

募集して集めると関心のある方だけに偏ってしまうから、ご意見にあったようにこちらから別の集まりへ出向いて行くという方法も考えられるのかなと思いました。

私は参加者の方がたくさん集まっていたらということは想えていたなかった。むしろ、来てもらえる方は少ないと思っていました。

(竹村委員長)

100人か200人か来れば良いと思っていました。

それよりも、そういった会議（フォーラム）を行ったということをチラシなどで各戸に配布するなどして周知することが大切だと思います。

当面は、環境市民会議のことも含め、加東市で環境に関する取り組みが始まっていることを広く周知することが重要ではないでしょうか。

(梶原委員)

ケーブルテレビのニュースはよく見られているので放映してもらえば周知できるのではないでしょうか。

また、チラシなどは広報と一緒に各戸配布してもらえば目にする人は増えると思う。

(竹村委員長)

節目節目にフォーラムを開催して、その都度情報発信すればよいと思いますが。

(近松委員)

ただ広報やチラシだけでは100人・200人はとても集まらない。場所によっても移動距離のこともあり来ない場合が多い。

多く集めるなら何らかの対策を考える必要があると思う。

(竹内委員)

フォーラムをするという前提で話しが進んでいますが、何を訴えるために開催するのかが自分の中で明確になっていません。

フォーラムの主眼となるものがないと、漠然と行うのは、その後の啓発でもまとまらないのではないかでしょうか。

先程も申し上げましたが、環境に関する取り組みが始まっていることや基本的な問題などを加東市民の方々に知っていただくためのものです。市民の方々への問題提起のようなもので如何でしょうか。

(竹村委員長)

既にいろんな場所で環境学習を行っており、低学年向けの紙芝居などもある。地道にということであればそういう方法もあるが、2年間で間に合うかどうか。

(山口委員)

- (事務局) 子供たちへの学習ということであれば、4年生で総合学習というカリキュラムがあるので、こちらから教育委員会へ依頼して協力を得るということも考えられます。
- (事務局) 市民の皆さんに環境問題を知ってもらうことが大事だと考えていますので、問題意識を共有するということを大事にするようなイベントにしていただけたら有り難い。
- (竹村委員長) 事務局はいつ頃を考えているのか。
(事務局) 本年中の12月中旬頃で出来ないかと考えています。
- (近松委員) 最初から疑問に思っていたのですが、月1回2時間の会議でまったく知らない方が集まって議論してこれだけの行事をこなしていくのかと思っています。
- (伊藤委員) こんな難しい会議は無いと思います。市は広報等で（環境市民会議のことについて）啓発されたのか。条例も含めて。
- (事務局) 環境市民会議委員募集の際に行っています。
- (伊藤委員) 市が行事を行う際は必ず地区から何名という依頼がある。これは自発的に参加しているものではないので意味が無い。やはり、自発的に参加してもらうようなものでないと駄目だ。
- 調整に期間がないのであれば市で素案を提示して欲しい。このままではまとまらない。
- (竹村委員長) 私は先程から言っているように、人集めはしなくてもよいと思っています。
- (伊藤委員) チラシ配布となると広報に掲載したらいい。別にチラシをしても見ない人が多いのではないか。
もっと広報での生活課の場所（スペース）を拡げるべきだ。ごみ分別の依頼のことはよく載せているが。
- (井上委員) 環境に関する取り組みを伝えるためのフォーラムであれば、この会議自体が議論したり啓発したりするために発足して始まっているので、この会議の内容などを広報に掲載してもらえれば、情報発信という趣旨は網羅するのではないかでしょうか。
- (竹村委員長) 今回のフォーラムは市民の皆さんにも勉強してもらう場を提供するというのが狙いなので、その中に講演会やディスカッションを行って、市民の皆さんにも一緒に勉強してもらうというもので如何でしょう。
- 希望した（自発的に来られた）方だけで終わってしまって仕方がないのではと思います。無理やり来てもらっても、効果が上がらないと思います。
- それ以外の方は広報やチラシでお知らせする方法で。
- (伊藤委員) ゴミも環境だと思うがその面は行政主導で行っている。同じように市で提案したらどうか。
- 環境問題は「自分ひとりが守らなくても、どうせ目に見えないのだから」という意識になってしまっている。だから守らない。
- 事務局で素案提案してもらってその内容を検討し、次回の第3回で決めるということで如何でしょうか。
- 場合によっては、開催時期をずらすことも考えられる。
- (近松委員) 今のような会議の進め方だと、前に進まない。早く部会（分科会）を開催する方向で考えたらどうか。

(竹内委員)

スケジュールの中で市民アンケートとあります。私達にとっては
そういうアシケート結果などがあった方が議論が進めやすいと思
います。

(竹村委員長)

フォーラムに関しては今回はまとまらないので、事務局に素案提
案していただいて次回に内容を決定することで宜しいでしょうか。

開催通知と共に資料を先に送っていただいて事前検討をそれぞれ
の委員で行ってもらって次回会議にご参加ください。

* * * 次回開催日調整 * * *

会議終了